

令和3年度 施政方針

2月25日に開会した市議会定例会で、鈴木市長が令和3年度の施政方針を表明しました。重点的に取り組む施策など、主な内容をお伝えします。



波乱に満ちた人生を歩みながらも、伝染病の研究に大きく貢献した野口英世博士は「人生で変えることができるのは、自分と未来だけである」という言葉を残しております。
今、人々は、感染の恐怖や経済的な不安の中で、息苦しい日常生活を送っております。

この状況を招いたのは、利益最優先の過度なグローバル経済を推進し、地球への負荷をかけた続け、便利で効率的な生活を追い求めてきた私たち人間であります。
しかし、この状況を変えることができるのも、やはり人間にほかなりません。

一人ひとりが自らを振り返り、その知恵と力を結集し、ウイルスとも共存できる豊かな自然を取り戻すためにグリーン化を進めることや、デジタル技術の恩恵を享受する一方で、人間本来の温もりある社会をつくり上げることなど、近代化がもたらした負の遺産を検証し、包摂性や寛容性のある未来を創造していくことが必要であると考えております。

そうした視点から見ると、自然やコミュニティ、歴史や文化・伝統など、多くの資源に恵まれている本市は、大きな可能性があるものと考えております。

これを踏まえ、さらに足元の資源を磨き、人々の新たな価値感にあった暮らしを実現できる白河を築いてまいれる所存であります。

白河市長 鈴木和夫

2.健康・福祉・医療プロジェクト

子育て世代へのサポートや心身ともに健康なまちづくりを推進します

拡 妊産婦健康診査助成事業

産後2週間健診の実施により産後うつ予防を図るなど、より安心して出産できる環境を整えます。

新 小さな赤ちゃん親子手帳事業

「小さな赤ちゃん親子手帳」を作成し、小さく生まれた赤ちゃん、その家族の気持ちに寄り添った支援を行います。

拡 こども医療費助成事業

社会保険加入者がこども医療費の窓口負担なく受診できる区域を全国に拡大します。

新 健康ポイント事業

スマホアプリや活動量計を活用して、楽しく健康づくりができる「健康ポイントプログラム」を導入するなど、生活習慣病の予防を図ります。

継 ひきこもり自立支援事業

令和2年にオープンした相談支援センター「TUNAG(つなぐ)」と関係機関とが連携して自立に向けた取り組みに力を入れます。

拡 重度障がい者支援事業

心身に重度の障がいを持つ方が、医療費の窓口負担なく受診できる仕組みを導入します。

拡 高齢者見守り生活支援事業

食料品などの移動販売車を追加し、高齢者サロンを巡回するなど、日常の買い物支援と見守りの充実を図ります。



▲移動販売車「すまいる号」

1.安全・安心プロジェクト

市民の暮らしを守るため、防災・減災、交通安全対策を推進します

継 新型コロナウイルスワクチン接種事業

医師会との連携のもと迅速かつ効果的に接種を進めます。

新 緊急浚渫推進事業

河道内に堆積した土砂の撤去や繁茂した樹木を伐採し、河川の流下断面を確保することにより、河川氾濫の危険性を軽減します。

新 土のうステーション設置事業

集中豪雨や台風にも備え、市民が自由に土のうを持ち出せる「土のうステーション」を各地域に設置し、防災力の強化と防災意識の向上を図ります。



▲土のうステーション

拡 消防団員装備品整備事業

消火活動の安全を確保する防火服などを配備するとともに、計画的に消防車両を更新します。

拡 一般公開用地理情報システム(GIS)整備事業

GISを市民が閲覧できるように整備し、災害発生時の浸水・土砂崩れ・通行止めなどの情報を迅速に提供します。

継 園児の散歩道安全対策事業

子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園、保育園の周辺道路に交通安全施設を整備します。



▲安全柵設置

5.都市基盤プロジェクト

快適で利便性の高い都市環境の整備を推進します

継 空き家対策事業

空き家の所有者向けに空き家の問題点について学ぶセミナーを開催するとともに、空き家の改修費用の一部を補助します。

新 歴史的風致形成建造物活用推進事業

「歴史的風致形成建造物」として指定した建造物などの修繕費用の一部を補助し、保存・活用を図ります。

継 地域内移動支援事業

タクシー・バス運賃の一部を助成し、運転免許証を持たない高齢者や障がい者の日常生活における移動を支援します。

継 しらかわセーフロード事業

現場打側溝などの改修を行い、道路の安全を確保し、居住環境の向上を図ります。



側溝改修状況▶

新 循環バス新ルート検討実証実験事業

真舟周辺地域を対象に、試験的に循環バスを運行し、バスの需要や商業施設などへの波及効果の調査を行って、新たなルートを検討します。

新 旧脇本陣柳屋旅館建造物群勸工場解体跡地修景事業

安全確保の観点から勸工場を解体するとともに、旧脇本陣エリアの空間整備を行い、隣接する蔵座敷の利用促進を図ります。

継 予約型乗合タクシー実証実験事業

表郷および旗宿・大信・東地域において予約型乗合タクシーの実証実験を行い、便利で効率的な公共交通の導入を検討します。



◀予約型乗合タクシー

6.コミュニティ・環境等プロジェクト

暮らしやすい白河の魅力発信、定住人口の増加、環境保全を推進します

新 複合施設整備事業

市民会館跡地に「健康増進」「子育て支援」「生きがいづくり」「防災対策」の4つの機能を柱とする複合施設の基本設計に着手します。

新 人権尊重思いやり事業

人権シンポジウムや小中学生を対象とした思いやりの心を育む事業を開催するとともに、人権擁護委員と連携し、人権を尊重する精神の浸透に努めます。



継 まちラボ学生プロジェクト支援事業

大学などのゼミやサークル、まちづくりに関心のあるグループが本市を研究や活動のフィールドとして活用する場合の経費の一部を支援します。

継 地域の底力再生事業

町内会が培ってきた「協働」「伝統」「融和」の力をいかして実施する「清掃活動」「防災訓練」「不法投棄撤去」などの地域活動を支援し、コミュニティの強化を図ります。

新 「みりょく発信」二地域居住・移住希望者市営住宅提供事業

市営住宅の空き部屋を活用し、二地域居住や移住を体験できる住居を提供します。



新 しらかわ移住魅力発信事業

インフルエンサーの協力を得て、白河での普段の生活や、地域との交流の様子をYouTubeなどで全国に発信し、知名度・認知度を高めます。

継 資源回収奨励金助成事業

市民の自発的な資源回収活動に対して、回収量に応じた奨励金を支給することにより、ゴミの減量化・資源化・再利用を推進します。

新 図書館施設設備改修事業

市立図書館「りぶらん」の照明器具をLED化するなど、二酸化炭素排出量の削減を図り、グリーン化の実現に向けて取り組みます。

3.産業・雇用プロジェクト

新たな働き方をデザインします

継 サテライトオフィスを活用した雇用創出・移住促進事業

令和3年度開設予定のサテライトオフィス（産業プラザ人材育成センター内）への企業誘致や地元企業とのビジネスマッチングを支援します。

新 女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業

子育てのブランクにより、就職に不安のある女性などを対象としたワークショップ・セミナーや、女性の就労に関する企業ニーズ調査などを実施し、女性に寄り添った仕事と子育ての両立を支援します。



継 女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業

子育てや在宅介護により働きたくても働けない女性などを対象とした仕事の場所と時間に縛られない「クラウドソーシング」の活用を促進します。



新 ディスカバリー白河農活事業

各集落と連携し、就農希望者への農業体験や、農地・住まいの情報提供を行うなど、担い手不足の解消と移住の促進に努めます。

新 農業経営アカデミー推進事業

農業経営に関する講座を開設し「稼げる農業」に挑戦する若手農業者などの経営基盤強化を支援します。

継 (仮称) 物産交流センター整備事業

JR白河駅舎に隣接する既存建物を活用し、地場産品の展示販売や情報発信などを行うまちなかの交流拠点を整備します。



▲(仮称)物産交流センター(現況)

4.教育・文化・生涯学習プロジェクト

子どもたちの創造性を育む教育と足元の資源をいかした魅力の向上を推進します

継 大信地域小学校統合事業

令和4年度の統合に必要な教室の整備や、校歌の制作などを進めます。

新 アートによる文化振興事業

芸術系大学の学生を招致し、地域資源をいかした創作活動を行うアート事業の実施や、高校生を対象とした演劇講習会の開催、プロの劇団の滞在型活動の誘致を行います。

継 ICT教育環境整備事業

ICTを最大限に活用した学びの創造を目指し、電子黒板を導入するとともに、校務用パソコンなどを計画的に更新します。



新 復興ありがとうホストタウン交流事業

震災復興に際し、多大な支援を受けたカタールのホストタウンとして事前合宿を受け入れるとともに、同国の歴史や文化を学ぶ交流事業を開催します。

新 白河かるた作成事業

子どもたちの愛郷心を育むため「白河かるた」の作成や「れきしら」の電子書籍化を行います。

継 南湖公園史跡整備事業

快適に散策できるよう北東湖岸の園路を整備します。

継 清水門復元整備事業

小峰城の価値をさらに高めるため、城内で最大規模を誇った清水門の復元整備を進めます。



◀清水門復元イメージ図